

Ⅱ バリアフリー化推進に関する
国民意識調査について

<図表のみかた>

- 1 回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。それぞれの質問の回答者数は、全体（2,911）の場合はN、それ以外の場合にはnと表記しています。
- 2 %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。従って、回答の合計が必ずしも100%にならない場合があります。
- 3 男女別、年代別などは、不明の方がいたため、合計が全体とは一致しません。
- 4 回答者が2つ以上回答することのできる質問（複数回答）については、%の合計は100%を超えることがあります。
- 5 全問クロス集計の集計表を巻末の資料編に掲載しました。
- 6 本文及びグラフ中の設問文ならびに集計表の選択肢の表現は一部省略されています。また、棒グラフについては、回答割合の多い順に並べかえています。調査票を巻末の資料編に掲載しましたので、ご参照ください。
- 7 全国を、①北海道・東北、②関東甲信越北陸、③中部、④近畿、⑤中国・四国、⑥九州の6つのエリアに分けて分析しています。
- 8 都市を①大都市（人口100万人以上）、②地方都市（人口30万人以上）、③小都市A（人口5万人以上）、④小都市B（人口5万人未満）、⑤過疎地域の5段階に分けて分析しています。

1 回答者の属性

(1) 男女・年代

① 男女 (F 1)

回答者の性別をみると、「女性」が 54.4%、「男性」が 43.7%となっている (図表Ⅱ-1-1)。

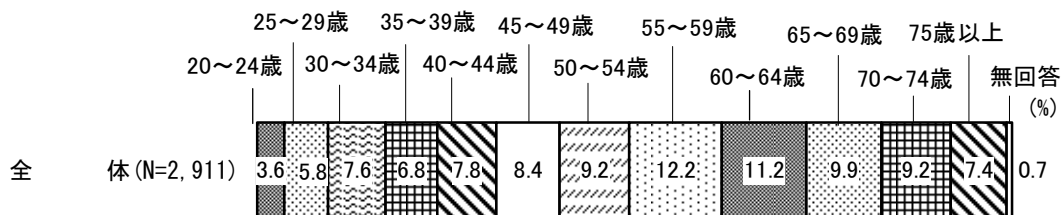
図表Ⅱ-1-1 男女 (全体)



② 年代 (F 2)

回答者の年代をみると、「55～59歳」が 12.2%と最も多く、「60～64歳」11.2%、「65～69歳」9.9%と続いている。最も少ないのは「20～24歳」3.6%である (図表Ⅱ-1-2)。

図表Ⅱ-1-2 年代 (全体)

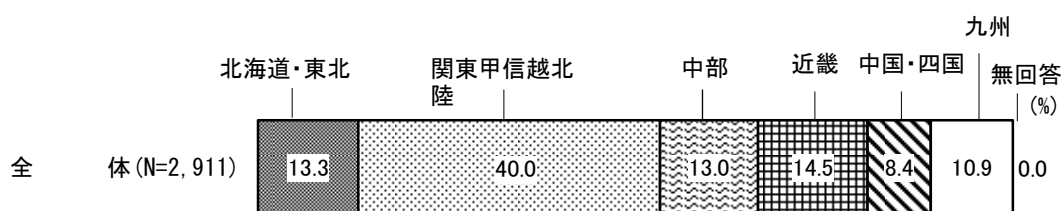


(2) エリア・都市規模

① エリア (F3)

エリア別にみると、「関東甲信越北陸地方」が40.0%で最も多く、次いで「近畿地方」14.5%、「北海道・東北地方」13.3%、「中部地方」13.0%、「九州地方」10.9%、「中国・四国地方」8.4%である（図表Ⅱ－1－3）。

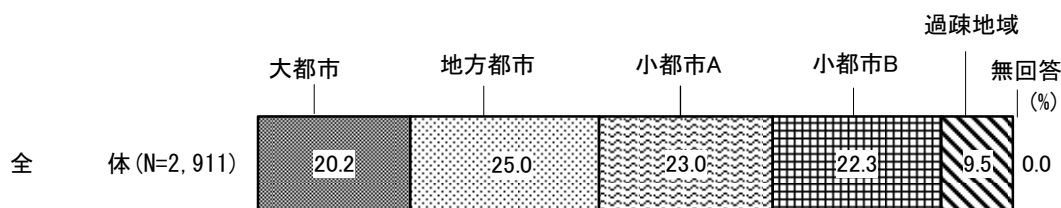
図表Ⅱ－1－3 エリア（全体）



② 都市規模

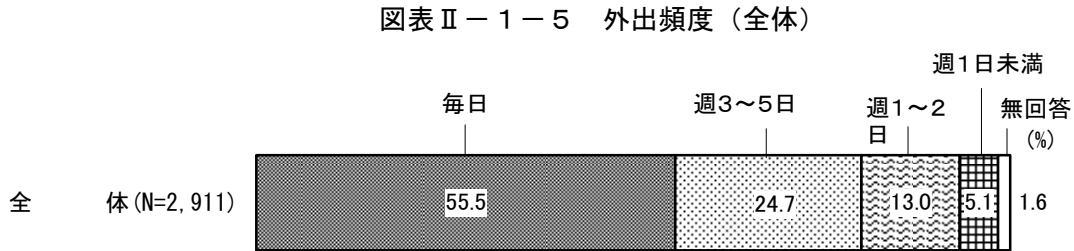
都市規模別にみると、「地方都市」が25.0%と最も多く、次いで「小都市A」23.0%、「小都市B」22.3%、「大都市」20.2%、「過疎地域」9.5%である（図表Ⅱ－1－4）。

図表Ⅱ－1－4 都市規模（全体）



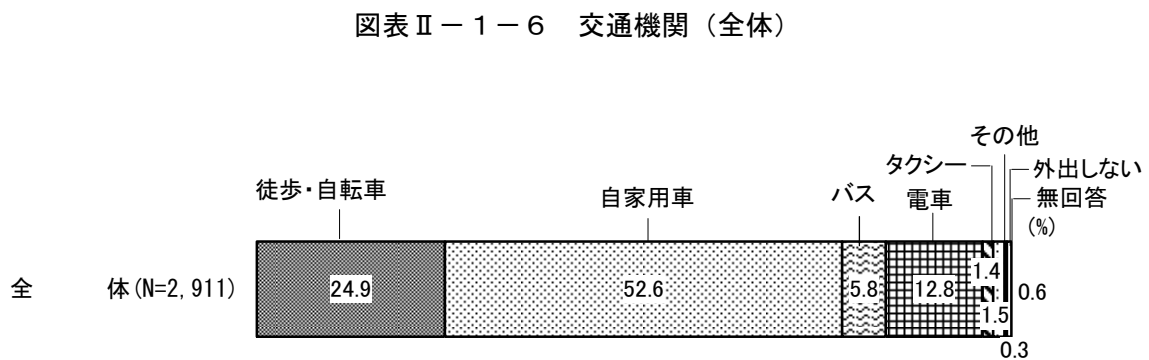
(3) 外出頻度 (F 4)

外出頻度は、「毎日」が55.5%と最も多く、次いで「週3～5日」24.7%、「週1～2日」13.0%、「週1日未満」5.1%である（図表Ⅱ－1－5）。



(4) 交通機関 (F 5)

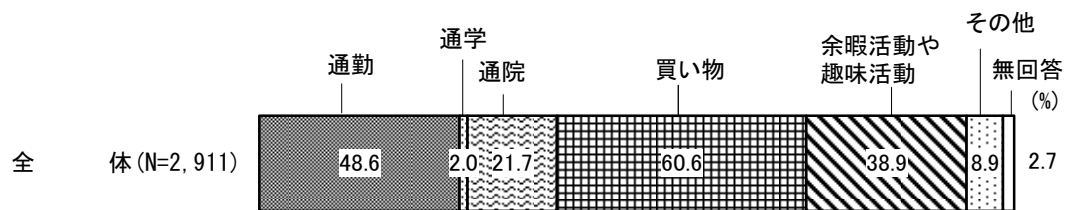
利用する交通機関は、「自家用車」が52.6%と最も多く、次いで「徒歩・自転車」24.9%、「電車」12.8%、「バス」5.8%、「タクシー」1.4%、「外出しない」0.3%、である（図表Ⅱ－1－6）。



(5) 交通機関の利用目的 (F 6)

交通機関の利用目的は、「買い物」が 60.6%と最も多く、次いで「通勤」48.6%、「余暇活動や趣味活動」38.9%、「通院」21.7%、「通学」2.0%である (図表Ⅱ-1-7)。

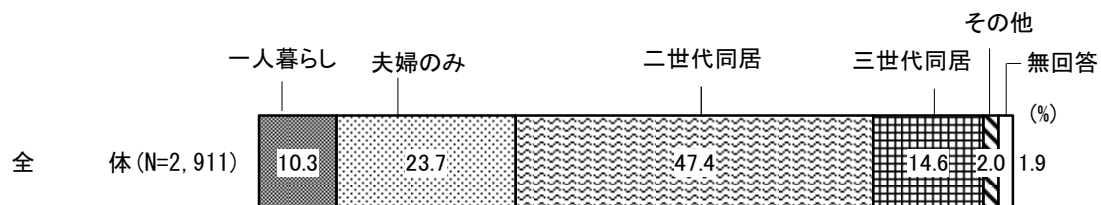
図表Ⅱ-1-7 交通機関の利用目的 (全体/複数回答)



(6) 家族構成 (F 7)

家族構成は、「二世帯同居」が 47.4%と最も多く、次いで「夫婦のみ」23.7%、「三世帯同居」14.6%、「一人暮らし」10.3%である (図表Ⅱ-1-8)。

図表Ⅱ-1-8 家族構成 (全体)

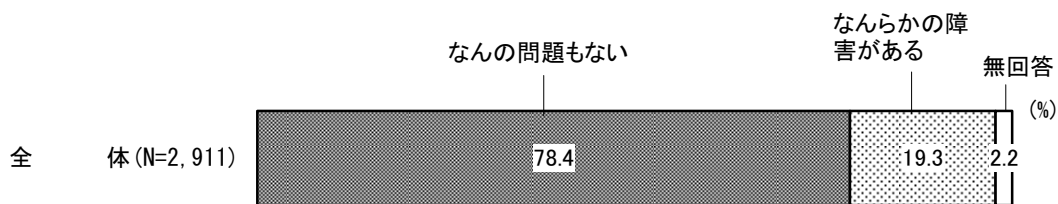


(7) 障害の有無 (F 8)

① 障害の有無

障害の有無については、「なんの問題もない」が 78.4%、「なんらかの障害がある」は 19.3%となっている (図表Ⅱ-1-9-①)。

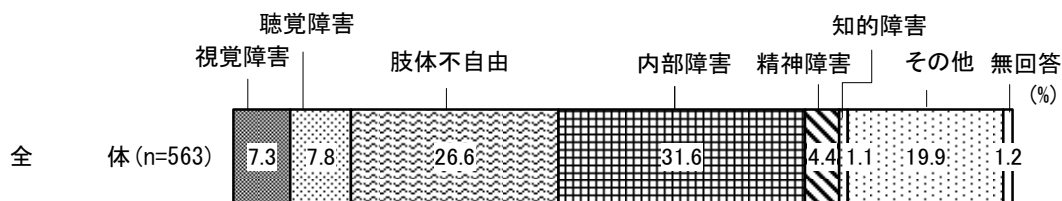
図表Ⅱ-1-9-① 障害の有無 (全体)



② 障害の内容

障害がある人の障害の内容は、「内部障害」が 31.6%と最も多く、次いで「肢体不自由」26.6%、「聴覚障害」7.8%、「視覚障害」7.3%、「精神障害」4.4%、「知的障害」1.1%である (図表Ⅱ-1-9-②)。

図表Ⅱ-1-9-② 障害の内容 (全体)



(8) 同居している未就学児の有無 (F 9)

同居している未就学児については「いない」が85.5%で、「いる」は11.6%となっている(図表Ⅱ-1-10)。

図表Ⅱ-1-10 6歳未満の同居(全体)



(9) 家族内に介助・介護が必要な人の有無 (F 10)

家族内で介助・介護が必要な人については、「いない」が84.8%で、「いる」は12.4%となっている(図表Ⅱ-1-11)。

図表Ⅱ-1-11 家族内に介助・介護が必要な人の有無(全体)

